

指定校番号	29045	学級活動		生徒会活動		学校行事	○	中学校用
-------	-------	------	--	-------	--	------	---	------

平成 29 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	安芸高田市立高宮中学校	校長	佐々木生祐	生徒指導主事	北村 清
-----	-------------	----	-------	--------	------

取組事例名 『たかみや大地の祭り』への参加

取組のねらい 『キーワード 地域の良さを発見』

- ①郷土学習を通して、多様な人との関わりや生き方に触れることで、自らの「生き方」を将来の姿に結び付ける。
- ②地域振興会との連携の中で、「郷土の活性化・継承」といった取組を目の当たりにし、主体的に地域の一員としての自覚を高めるとともに、地域の良さを発見する。

内容項目 (3) エ 望ましい勤労観・職業観の形成

身に付させたい資質・能力

- ①課題解決に向けての共同的な態度を養う
- ②将来や生き方について考えを深めていく力

取組の具体的内容 『キーワード 地域とのふれあい』

地域行事である「たかみや大地の祭り」の実行委員会に参加し、趣旨、運営、中学生の参加態勢（全校活動）について把握、具体的取組は、総合的な学習の時間で準備、練習等を行う。

- ①「たかみや大地の祭り」実施計画の職員への周知
- ②指導計画作成と生徒への周知
- ③生徒の活動内容
 (ア 応援団の発表【黄組】 イ 駄菓子屋販売【3年】 ウ オムそば【各学年4名】
 エ キッズハローワーク【1・2年】)



- ④準備物の作成及びお菓子の値段の決定
- ⑤オムそば作り体験
- ⑤机・椅子の搬入
- ⑥最終の打ち合わせ



- ⑦振り返り（当日に振り返りを行う）

地域の方に『オムそば作り』の手ほどきを受け、当日は完売しました

取組の課題・創意工夫 『キーワード 誠意』

○取組の課題

①生徒にとって慣れない商売体験は、地域・保護者等へどのように対応したらいいか予測がつかない。

②自分たちの手で作ったもの売るという厳しさがある。

○取組の創意工夫

①商品を買う人の気持ちを考慮し、商品の値段の設定及びPOP作りの工夫を行う。

②「オムそば」を体得させるために、地域の方の実技指導を要請する。



取組の成果（効果） 『キーワード 地域の温もり』

①商売の難しさと、売れた喜び、完売した喜びによる達成感を味わった。

②商売や各地域のブースの手伝いの体験により、地域の方々とのふれあいのきっかけを作り、コミュニケーション力を身につけた。

③地域の方々の中学校への支援や温もりを感じることができた。



キッズハローワーク参加
(地域のブースのお手伝い)

今後の展開 『キーワード 工夫改善と継続』

①来年度につながる工夫改善と行事を継続して行う。

②各教科、領域との関連を整理し、人とのつながりの大切さや地域に誇りを持ち、自らの生き方につなげていく。



他校へのアドバイス 『キーワード 地域の学校』

生徒や教職員に「地域の学校」という意識とつながりをもたせるための体験活動を実態に応じて仕組んだらよい。

生活ノートから～生徒の感想～

今日は大地の祭りでした。オープニングでダンスをしました。「ファミリーねこの手」の手伝いに行きました。私は物を作るのが好きなので、こういう仕事できて良かったです。仕事を中学生がいっぱいやっていたので、いいなと思いました。ボランティア活動をしたので地域の方々も喜んでくれたかなと思います。中学生になって初めての大地の祭りがとても楽しかったです。

今日はオムそばを売りに行きました。いろんな人が買いに来てくれました。今まで、練習をしてきたことをがんばろう！と思いましたが、私はずっとたまごを割って混ぜることしかできませんでした。私も作りたかったなと思う反面、お客さんがたくさん買ってくれて笑顔になっているのを見ると本当にうれしくなり、少しでも役に立てるなら、たまごの下準備だけでもいいわ。と思いました。休憩時間に、友だちが『オムそば、おいしかったよ』と言ってくれました。うれしくなり、心から参加してよかったと思いました。